

平成29年度一般会計決算審査

投資的経費対前年比37.5%の減

認定

平成29年度の奥出雲町各会計決算について、決算特別委員会において執行部の出席を求め詳細に審査しました。後の本会議にて賛成11名、反対2名の賛成多数で認定しました。

地方債残高は前年から約10億円の減となりました。町の借金は減りましたが、これは住民生活に直結する道路整備などの投資事業を抑制した結果とも言えます。

区分	平成29年度
歳入総額 (A)	148 億 3,535 万円
歳出総額 (B)	145 億 3,377 万円
歳入歳出差引額 (A) - (B) = (C)	3 億 157 万円
翌年度へ繰り越 すべき財源 (D)	1 億 5,996 万円
実質収支 (C) - (D)	1 億 4,161 万円

☆決算額の中で大きな割合を占めたもの

三成公園ホッケー場整備事業
1億7,107万円



ふるさと応援基金積立金
2億9,978万円



田食道弘委員 老人福祉費の需用費が78万円不用額となっているがなぜか。
健康福祉課長 主なものとして、雲南広域連合から受託をしている地域支援事業の印刷製本費や消耗品費、燃料費等について、当初計画から使

糸原壽之委員 木次線利用促進・全線80周年事業負担金290万円の事業内容は。
地域づくり推進課長 80周年記念プロジェクトや奥出雲女子旅行車、三成駅プラットフォームの花いっぱい運動、布勢幼児園による八代駅のトロッコ列車見送り活動などの事業が実施された。

内田雅人委員 企業版ふるさと応援寄付金は342万円だが、成果と状況は。
企画財政課長 現在1社から寄付いただいている。
農業振興課長 エゴマ栽培に資するもので、事業費が確定した後に寄付を頂く。今年はハウスの導入と乾燥機を整備する予定だ。

財政健全化判断比率は？

- 実質公債費比率 14.3% (前年度に比し3ヶ年平均で0.1%改善) 3ヶ年平均が18%を超えると起債を発行するために許可が必要な「起債許可団体」となる。
- 将来負担比率 177.6% (前年度に比し7.9%悪化) 350%以上になると「財政健全化団体」となる。

●14事業特別会計の決算状況はいずれも黒字決算

一般会計から特別会計への繰出総額は、20億1,128万円で対前年度比較で1億1,308万円の増となりました。主なものは、奥出雲病院事業5億2,111万円、農業集落排水事業3億4,300万円、水道事業4億5,924万円、後期高齢者医療保険事業2億7,499万円などで、14事業特別会計の総合収支はいずれも黒字決算となりました。

わなかつたものがあり不用額として計上した。
大垣照子委員 道路管理費の業務委託料9,870万円の内容は。
建設課長 ほとんどが除雪委託業務で8,969万円、その他道路維持修繕一括業務委託が600万円などである。